

国道159号（浅野川大橋～東山～山の上）交通安全対策協議会

設 立 目 的

昨年8月に国が策定した第8次交通安全基本計画では、平成24年までに交通事故死者数を全国5,000人以下（昨年6,352人）とし、世界一安全な道路交通の実現を目指すことが決められました。

また、平成22年までに全国5500人以下、石川県では58人以下（昨年65人）を目指すことが決められております。

同計画では「自転車」にも着目され、安全で安心して通行できる歩行者・自転車空間創出に向けた交通安全対策が重要な課題となっております。

国土交通省金沢河川国道事務所では、歩道幅が狭く自転車走行のほとんどがルール違反状態にある国道159号（浅野川大橋～東山～山の上）区間について、関係機関と連携し、様々な方々よりご意見を伺いながら交通安全対策を行うことといたしました。

本協議会は、学識者、地域住民、学校、PTA・育友会、事業者・団体、報道、県警、道路管理者で構成されており、前述区間について、①人・自転車・クルマそれぞれにとって「安全で安心して通行できる道路空間創出」に向けた「交通安全対策の検討」、②平成19年「春」に予定している「対策の効果検証実験」内容の立案、③交通安全の啓発に係る「広報活動」を行うことを目的に設立いたします。